

かすみがうら市地域公共交通計画変更点について

◆前回からの変更点について記載しています。

①地域公共交通計画 P24、P28 バス写真追加



提供) 関鉄グリーンバス株式会社

②地域公共交通計画 P45

運転免許証自主返納支援事業について、関鉄グリーンバス(株)、関鉄観光バス(株)ともに12月をもって回数券の販売が終了したため、交通系 IC カード Suica の進呈に変更した旨に修正。

③地域公共交通計画 P86 赤字追加

●公共交通および公共交通施策の現状		
鉄道	<p>市域全体で人口が減少傾向にあるなか、JR 神立駅の乗車人数はほぼ横ばいで推移している。</p> <p>立地適正化計画ではまちづくりの方針として JR 神立駅を中心とした福祉・教育・子育ての拠点形成が示されている。</p>	JR 神立駅へのアクセス向上

④地域公共交通計画 P91 赤字修正

計画目標①

計画目標	<p>中心市街地へのアクセス向上</p> <p>総合計画では、JR 神立駅を中心とした一体的な都市構造と、それを支える交通体系の構築を示している。JR 神立駅周辺を中心とした拠点的土地利用の推進にあわせ、市内各所を結ぶ交通ネットワークを強化する。</p>
------	---

計画目標②

数値目標	<p>■デマンド型乗合タクシーの延べ乗車人数 8,655 人/年</p> <p>公共交通サービスの充実状況を評価する指標として高齢者等の公共交通の必要性が高い主体に関わる指標を設定する。</p> <p>○デマンド型乗合タクシーの年間延べ乗車人数</p> <p>現況 (令和元年度) 7,869 人/年 → 目標値 8,655 人/年 (110%)</p>
------	---

⑤地域公共交通計画 P93、P94 赤字修正

計画目標⑤

数値目標	<p>■主要3つの交通施策の収支率向上</p> <p>霞ヶ浦広域バス 67% 千代田神立ライン 18% デマンド型乗合タクシー 20%</p> <p>効率的な公的資金の活用に関わる指標を設定する。</p> <p>○霞ヶ浦広域バス</p> <p>計画目標③の利用者数を達成する場合 現況（令和元年度）61.8% → 目標値 67%</p> <p>< 目標値 36,500 人/年・収支率 67%の試算 ></p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">現状（令和元年度）</td> <td colspan="2">利用者数を目標の36,500人/年にした場合</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>33,747 人/年</td> <td>利用者数</td> <td>36,500 人/年</td> </tr> <tr> <td>運賃収入</td> <td>11,156 千円/年</td> <td>運賃収入</td> <td>12,045 千円/年</td> </tr> <tr> <td>一人あたり運賃収入</td> <td>330 円/人</td> <td>一人あたり運賃収入</td> <td>330 円/人</td> </tr> <tr> <td>運行経費</td> <td>18,056 千円/年</td> <td>運行経費</td> <td>18,056 千円/年</td> </tr> <tr> <td>収支率</td> <td>61.8%</td> <td>収支率</td> <td>66.7%</td> </tr> </table> <p>利用者数：3市全てのバス停乗車人数の合計 一人あたり運賃収入：運賃収入÷利用者数 運賃収入：令和元年度の一人あたり運賃収入330円×利用者数 運行経費：令和元年度と同じと仮定</p> <p>※地域交通確保維持改善事業補助金等の公的資金 6,500 千円/年</p> <p>○千代田神立ライン</p> <p>計画目標①の利用者数を達成する場合 現況（令和元年度）14.0% → 目標値 18%</p> <p>< 目標値 10,000 人/年・収支率 18%の試算 ></p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">現状（令和元年10月～令和2年3月）</td> <td colspan="2">利用者数を目標の10,000人/年にした場合</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>3,871 人/6ヶ月</td> <td>利用者数</td> <td>10,000 人/年</td> </tr> <tr> <td>運賃収入</td> <td>1,040 千円/6ヶ月</td> <td>運賃収入</td> <td>2,700 千円/年</td> </tr> <tr> <td>一人あたり運賃収入</td> <td>270 円/人</td> <td>一人あたり運賃収入</td> <td>270 円/人</td> </tr> <tr> <td>運行経費</td> <td>7,427 千円/6ヶ月</td> <td>運行経費</td> <td>14,854 千円/年</td> </tr> <tr> <td>収支率</td> <td>14.0%</td> <td>収支率</td> <td>18.2%</td> </tr> </table> <p>一人あたり運賃収入：運賃収入÷延乗車人数 運賃収入：令和元年度の一人あたり運賃収入270円×利用者数 運行経費：令和元年度と同じと仮定</p> <p>○デマンド型乗合タクシー</p> <p>計画目標②の利用者数を達成する場合 現況（令和元年度）7.8% → 目標値 20%</p>	現状（令和元年度）		利用者数を目標の36,500人/年にした場合		利用者数	33,747 人/年	利用者数	36,500 人/年	運賃収入	11,156 千円/年	運賃収入	12,045 千円/年	一人あたり運賃収入	330 円/人	一人あたり運賃収入	330 円/人	運行経費	18,056 千円/年	運行経費	18,056 千円/年	収支率	61.8%	収支率	66.7%	現状（令和元年10月～令和2年3月）		利用者数を目標の10,000人/年にした場合		利用者数	3,871 人/6ヶ月	利用者数	10,000 人/年	運賃収入	1,040 千円/6ヶ月	運賃収入	2,700 千円/年	一人あたり運賃収入	270 円/人	一人あたり運賃収入	270 円/人	運行経費	7,427 千円/6ヶ月	運行経費	14,854 千円/年	収支率	14.0%	収支率	18.2%
現状（令和元年度）		利用者数を目標の36,500人/年にした場合																																															
利用者数	33,747 人/年	利用者数	36,500 人/年																																														
運賃収入	11,156 千円/年	運賃収入	12,045 千円/年																																														
一人あたり運賃収入	330 円/人	一人あたり運賃収入	330 円/人																																														
運行経費	18,056 千円/年	運行経費	18,056 千円/年																																														
収支率	61.8%	収支率	66.7%																																														
現状（令和元年10月～令和2年3月）		利用者数を目標の10,000人/年にした場合																																															
利用者数	3,871 人/6ヶ月	利用者数	10,000 人/年																																														
運賃収入	1,040 千円/6ヶ月	運賃収入	2,700 千円/年																																														
一人あたり運賃収入	270 円/人	一人あたり運賃収入	270 円/人																																														
運行経費	7,427 千円/6ヶ月	運行経費	14,854 千円/年																																														
収支率	14.0%	収支率	18.2%																																														

⑥地域公共交通計画 P96 赤字修正 資料3参照

⑦地域公共交通計画 P97 赤字修正

③ デマンド型乗合タクシーの維持・拡充	人口密度の低い郊外において、自家用車の運転が難しい高齢者等の移動手段としてデマンド型乗合タクシーを運行しているが、事業継続に伴う費用対効果が課題となっている。そのため、より効率的で持続可能なデマンド型乗合タクシーの維持・拡充を図る。
----------------------------	--

⑧地域公共交通計画 P99 『表 9.1 計画の達成状況の評価』の追加

計画目標	数値目標	データ整理	評価時期
①中心市街地へのアクセス向上	千代田神立ラインの利用者数 10,000 人/年	運行事業者が毎月の利用者数を調査し、市が年間利用者数の動向を整理する。	毎年度
②公共交通の必要性の高い主体の移動性の確保・充実	デマンド型乗合タクシーの延べ乗車人数 8,655 人/年	運行事業者が毎月の利用者数を調査し、市が年間利用者数の動向を整理する。	毎年度
③広域連携の維持・推進	霞ヶ浦広域バスの利用者数 36,500 人/年	運行事業者が毎月の利用者数を調査し、市が年間利用者数の動向を整理する。	毎年度
	スクールパス販売枚数 20 枚/月	運行事業者が毎月の販売枚数を調査し、市が年間を通じた販売枚数の動向を整理する。	毎年度
④多様な交通機関相互の連携・強化	既存交通・新技術を活用した実証実験 1 事例以上実施	市と交通事業者が連携して、既存交通・新技術の活用可能性について検証する。	毎年度
	タクシー利用料金助成事業の利用枚数 1,050 枚/年	運行事業者が毎月の利用枚数を調査し、市が年間利用枚数の動向を整理する。	毎年度
⑤公共交通を支える体制づくり	霞ヶ浦広域バス 67% 千代田神立ライン 18% デマンド型乗合タクシー 20%	運行事業者が毎年度、運行収入、運行経費、収支率を調査し、市がその動向を整理する。	毎年度